

あさぎり町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる!～

No.64
R2年.9.2発行

あさぎり町議会 検索



タイガードムの 設置実演会

通年議会 第1・2・3・4回会議

新正副議長就任のご挨拶	2P
議員紹介	3～5P
議会構成	6P
一般会計補正予算	7～8P
条例の制定	9P
一般質問	10～17P
常任委員会	18～19P

新正副議長就任のご挨拶



あさぎり町議会議長
徳永 正道

町民本位の議会をめざして

去る5月8日に開催されました改選後の第1回会議におきまして、再度議長職を務めさせて頂く事になり、重責に身の引き締まる思いであります。今、新型コロナウイルスによる感染症が世界中に蔓延して人命をはじめ、経済までもおびやかす、その影響ははかり知れないもの



あさぎり町議会副議長
森岡 勉

対話重視

コロナ禍という世界的な非常事態で、地方自治の真価が問われています。一日も早い収束を念じるところであります。

さて、今回副議長の任を受け、身の引き締まる思いと責任の重さを感じております。

があります。

そんな中、7月4日これまでに経験した事がないような豪雨災害が発生、町内外に多大な被害をもたらした早期の復旧が望まれております。被災された皆様方に議会を代表致しまして、心よりお見舞い申し上げます。議会と致しましても被災された町民の方々の一日も早い安心な生活の確保と生活支援の対策を執行部共々に進めて行く所存です。その為には議会と執行部がしっかりと向き合い知恵を出し合いながら対策を講じていく事が重要と考えております。今期より議員定数も14議席となり議会の責任も重くなります。議員各位一丸となって町民の皆様の負託に応えて参りたいと決意も新たにしている所です。何卒宜しくお願いします。

合併17年、本町においても少子高齢化が進み人口減少も進んでいる中、国は地方創生に向け地方に創意を求めています。

今回の改選により議員定数を減じて、新たな体制となりました。議員各位の積極的な活動と、資質の向上に努めていきたいと思っております。

執行部とは、是々非々で対峙しつつも「対話を重視し、必要な取組には協力」をモットーに議論を通し町民の不満や不安を取り除く責任を持つる議会を目指し、微力ではありますが議長補佐役として職責を専心誠意努める覚悟で御座いますので、皆様方のご指導を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



議員紹介 (議席番号順)



1 小谷 節雄 議員

この度初めて議席を与えて頂いた立場から、40余年の公務員生活並びに各種社会活動等での経験を、如何にして議会活動を通して地域還元につなげるかと、自問自答する日々です。

自分なりの特徴を活かし、地域間はもとより世代間・業種間・男女間等での「均衡を図る」ことを基本的な判断基準とし、持続可能な財政運営をはじめとする山積する諸課題に対して、正面から誠実に取り組んでまいります。

2 岩本 恭典 議員

今回の新型コロナウイルス感染で、私達の生活は以前と変化すると思われれます。景気が悪くなると、その影響を直接受けるのは地方および経済的弱者です。

町民全体の福祉の向上を目指して活動する事が議員の仕事ですが、先行きが不安な状況にあっては、少数意見に謙虚に耳を傾け、代弁者として町政に反映する事も議員の大事な役目と考えます。

そして、町民皆様の「力」と「智恵」と「行動力」であさぎり町の未来を創っていきましょう。



3 難波 文美 議員



令和の時代を迎え、自然環境や国際社会は都市や地方の別なく私たちの生活に大きな影響を与えており、戦後から平成までの『平和』だと思われた時代は地震や豪雨、そしてウイルス感染による経済危機などで一変しました。今後は、より地域の実情に合致する行政判断が重要です。皆様と共に生きるあさぎり町が良い方向に向かうよう広い視野と高いアンテナを持ち、議会と町の実態をしっかりとお伝えする活動を真摯に続けて参ります。

4 加賀山 瑞津子 議員

今までの福祉・教育現場での経験を生かしながら、赤ちゃんからお年寄りの方までの暮らしの安心安全を第一に一期目から変わらぬ想いでこれからも「健幸」のまちづくりに取り組んでまいります。併せて、三期目は「即行動・即実行」をモットーに、新型コロナウイルス感染症対策や防災・生活支援等にむけて、正しいわかりやすい情報の発信にも努めてまいります。ご支援、ご協力よろしく申し上げます。



5 橋本 誠 議員

「皆さまの声を、思いを町政に」をスローガンに掲げ、目の前の課題と向きあい、5年・10年先を見据えた地域をつなぎ、将来を担う人づくりを念頭に、町民の代表としての自覚を忘れず、全ての事柄に対して“誠実に”真摯に取り組んでいきます。



6 小出 高明 議員

新型コロナ問題で世界中が揺れる中、あさぎり町に於いても、商工、農林業等、生活経済に多大な影響が出ており、その難題解決に向けて手助けが出来る様、執行部、議会が知恵を出しあい、一丸となって取り組んでいきます。又、限られた財政の中で、町民の方の幸福度を上げる為、何が必要なのかを常に考え、融和で活気ある町、若者が残り、福祉にやさしい町、そして、災害に強く、安心して暮らせる町づくりを目指し努めていきます。



7 豊永 喜一 議員

新型コロナウイルス感染症の影響で世界中が大きく揺れ動く中、一日でも早くワクチンが開発され、もとの生活に戻る様、我々も新しい生活様式を守りながら終息を願うばかりです。町政も様々な課題が山積しています。今期も決意を新たに、初心を忘れず、原点回帰、「住民福祉の向上」を目指して、住民の皆様の声を誠心誠意、熱意をもって取り組み、是々非々の姿勢で臨み、あさぎり町に住んで良かったと思える様、全力で頑張ります。



8 山口 和幸 議員

地方自治体は、首長と議員をともに住民が直接選ぶ、二元代表制をとっています。議会と首長が対等の機関として、地方自治体の運営の基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視し、積極的政策提案を通して政策形成の場となることが本来の二元代表制の姿です。

効率的で分かりやすい議会運営、住民の意見を反映した「開かれた議会」を目指し、積極的な政策立案を行なう、あさぎり町議会基本条例の理念に基づき、活動をしてまいります。



9 永井 英治 議員



現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。同じくここ数年多発する自然災害等、その対策を講じることが先決となり、なかなか先の見通しが立てづらい今だからこそ、行政と議会、そして町民の皆様が一丸となったまちづくりへの取り組みが必要です。私も3期12年の経験を活かしながらも、初心を忘れる事なく、町執行部に対しまして、また議会の中にもありまして「和して同ぜず」の精神で住みよいあさぎり町になるよう努めてまいります。

10 皆越 てる子 議員

新型コロナウイルス感染症が発生し、日本はもとより世界中が新生活運動という新たな取り組みを展開されようとする中、まずは疲弊しているあさぎり町の経済回復に執行部と議論を重ね、一日も早く元の生活ができるよう頑張っていかなければと考える。

今期のスローガンは「町民おひとりお一人に寄り添いながらの町づくり」を掲げ、負担の少ない心身ともに健康で暮らしやすい町へ向けて頑張ります。



11 小見田 和行 議員



農業一筋（葉タバコ・メロン）45年、農家の戸数も若者も減り、あさぎり町の基幹産業である農業林業の根幹が揺らいでいる様に感じています。このままでは農村の宝である豊かな自然、人情までもが後世に継承できないのではないかと危惧します。

中央と地方の均衡を取り戻し、幸福度の高い日本国、あさぎり町となる様、あらゆる角度から政治活動に取り組みたいと思っております。住民の皆様の叱咤激励を御願いたします。

12 溝口 峰男 議員

「おかしい事をおかしい」と言わなかったら私が皆さんの代表としてあり続ける意味はない。

このことを胸に秘め皆さんが、「安心・安全な暮らしができる町」づくりを進める為に具体的施策をしっかりと提言してまいります。

あさぎり町が誕生して18年「合併して良かったね」の声があちこちから聞こえるよう、これまでの経験を生かし議員活動に邁進してまいります。



常任委員会・一部事務組合構成

総務建設経済常任委員会

委員長 山口 和幸
副委員長 皆越てる子
委員 徳永 正道
委員 溝口 峰男
委員 永井 英治
委員 小出 高明
委員 橋本 誠

議会運営委員会

委員長 小出 高明
副委員長 豊永 喜一
委員 森岡 勉
委員 小見田和行
委員 山口 和幸

公立多良木病院企業団議員

溝口 峰男
小見田和行
豊永 喜一
難波 文美
小谷 節雄

厚生文教常任委員会

委員長 小見田和行
副委員長 難波 文美
委員 森岡 勉
委員 豊永 喜一
委員 加賀山瑞津子
委員 岩本 恭典
委員 小谷 節雄

広報調査特別委員会

委員長 岩本 恭典
副委員長 皆越てる子
委員 永井 英治
委員 豊永 喜一
委員 橋本 誠
委員 小谷 節雄

上球磨消防組合議員

永井 英治
橋本 誠
岩本 恭典

熊本県後期高齢者医療広域連合議員

溝口 峰男

人吉球磨広域行政組合議員

皆越てる子
山口 和幸
小出 高明
加賀山瑞津子

議会選出監査委員

加賀山瑞津子

公共施設マネジメント調査特別委員会

委員長 溝口 峰男

次世代に負担を残さないため、公共施設等の適切な規模とあり方を検討し、今後の施設の維持管理について基本的な方針を示す「公共施設等総合管理計画」が平成29年3月に策定された。それを具体化するべき「個別施設計画」を策定する。それには建築物耐震改

修促進計画・橋梁長寿命化修繕計画・町営住宅長寿命化計画・地域防災計画等との整合を図ることが重要である。その中で、新たに第2庁舎建設が計画されているので、将来を見据えた議論を踏まえ結論を見出しまいります。

あさぎり町議会活性化調査特別委員会

委員長 橋本 誠

議会活性化調査特別委員会の設置に関する議案「各議員が基本条例を理解し、発言・行動をしてきたのか検証するとともに今後さらに町民の負託に応えるべく議員の役割と責任を自覚するため特別委員会を設置し研鑽する必要がある。また議員のなりて不足が危惧

される状況にあり多様な人材を確保するための環境整備に向け議員報酬の在り方等を含め課題解決を諮る調査が必要である」が可決され令和2年6月12日発足致しました。この委員会は開かれた議会を目指して議長を除く13名の議員で構成され、活動していきます。

第2回会議

5月22日(金)

一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出それぞれ**4,225万円**を増額し

総額 125億2,169万4千円

主なものとして

公有財産購入費(あさぎり駅前東側駐車場用地)・・・2,400万円
 雇用調整助成金等申請補助金・・・300万円
 防災管理費・・・861万5千円

第3回会議

6月9日(火)～12日(金)

一般会計補正予算(第6号)

歳入・歳出それぞれ**2億7,590万5千円**を増額し

総額 127億9,759万9千円

主なものとして

生活応援給付金・・・7,575万円
 おまけつき商品券発行事業補助金・・・2,000万円
 タブレット端末整備費(GIGAスクール構想)・・・1億976万3千円

第4回会議

6月30日(火)

一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出それぞれ**4,044万5千円**を増額し

総額 128億3,804万4千円

主なものとして

商工業経営持続化補助金・・・3,000万円
 学校支援員配置事業・・・823万3千円

令和2年度第2回・第3回会議表決一覧表(※反対者のみ×印記載)

議案	氏名														
		小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡	徳永
第2回	修正動議	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○
	議案第3号 令和2年度あさぎり町一般会計補正予算(第5号)について	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○
第3回	議案第12号 あさぎり町中心市街地活性化推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号 公共施設マネジメント調査特別委員会設置に関する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第3号 議会活性化調査特別委員会設置に関する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号 ふれあい福祉センター改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号 あさぎり町教育委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

修正動議を否決

第2回会議（5月22日）で令和2年度一般会計補正予算の中
のあさぎり町駅前東側駐車場の
用地購入費を削除する修正動議
が提出された。理由としては
「土地の取得には反対ではない
が、新型コロナウイルスの影響が
さまざまな産業に出ており、生活
に困窮されている人もいる。新型
コロナウイルスの収束も見えない
このタイミングで土地購入は市民
の理解を得られない」と指摘。採
決の結果、賛成6、反対7の賛成
少数で否決した。



東側駐車場

審議内容の抜粋

第3回会議（6月定例日）

問 基金の運用は

答 定期預金と国債等の債権で運用している。財源等に補てんする基金の取り崩しは預金の方である程度対応できると考えている。債権は10年物・20年物と超長期の債権を分けて運用している。

問 社会福祉協議会の派遣職員負担金は

答 定員管理計画の中で専門職の必要性は十分検討しているが、昨年採用したが中途退職という事情で、協議会の社会福祉士を今年は派遣いただき児童福祉に携わっていただいている。

問 健康教室運動指導業務委託料10月から始めて週4回実施するということが詳細に説明をしていただきたい

答 9月より1000名程度募集し、週4回25名ずつの教

室を開催予定。参加者の方は週1回教室へ出向いていただき、他は自宅でのウォーキングであったり、筋力トレーニングをしていただくというような計画でいる。場所としては新型コロナウイルスの感染関係もあるので、免田の生涯学習センターの隣の体育館を予定している。



問 その他の特別職で19名の増加を説明されたが、4月より事業が始まっているのに、3月31日で特別職の任期が切れ、継続できていないということも聞いているが進捗状況を問う

答 昨年度末で特別職の任期

が満了した委員も中には含まれている。当初予算の中では本年度も継続して附属機関等は設置していただく予算化はしている。空白の期間があるというのは大変良くないことなので、今後今年度の会議の進捗によって委員等が委嘱していくということになる。

問 GIGAスクール構想に伴う教育ICTの導入の前倒し5年・導入後の効果、使い勝手の確認と活用計画やフォロアップについての対応は

答 ICTを効果的に使うというような授業の流れのものを大切にしながら、一人一台の端末機を配布し、指導者が一人一人の状況をきちんと授業の中でつかみ、状況に応じた丁寧な授業の展開も重要である。今後は学習ソフトを入れ、場合によっては持ち帰って家庭での学習、オンライン授業も早急に取り入れていく必要があると考えている。

条例の制定 抜粋

- 議案第4号** あさぎり町税条例の一部を改正する条例の制定について
(新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例に係る手続き等)
- 議案第5号** あさぎり町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
(長期譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例等)
- 議案第6号** あさぎり町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
(特定教育・保育施設等との連携等)
- 議案第7号** あさぎり町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
(保育所等との連携等)
- 議案第8号** あさぎり町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
(指定都市の次に中核市を加える)
- 議案第9号** あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
(新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少したこと等による第1号被保険者介護保険料の減免措置を実施する)
- 議案第10号** あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
(新型コロナウイルス感染症対策として傷病手当金を支給する)
- 議案第11号** あさぎり町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(熊本県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正〔傷病手当金の支給〕)
- 議案第12号** あさぎり町中心市街地活性化推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について
(委員会の委員等を増員し〔10人→20人以内〕、委員会の充実を図るため〔オブザーバーの設置〕)

新型コロナウイルス感染症対策については、執行部が国・県・町との協議を円りながら現在進行中というようなことを踏まえ、6月議会での一般質問は自粛し、執行部と議会の全員協議会において、議論を重ねていくということでも了承した。



皆越 てる子 議員
Minagoshi Teruko

デマンド交通は

問

令和2年3月号の広報あさぎり、モデルとなって頂きました「節子さん」「運転手」の方ご協力有難う御座いました。

現在の利用状況は。

生活課長

まずは登録された方が昨年の10月末では459名・5月末では630名で、1.4倍の伸び。利用者では男性223名・女性407名で、約35%が男性・65%女性で、一日平均は令和元年10月16.3人・令和2年5月は20.3人でコロナ感染症対策ということで伸び悩んでいる。利用者が多い曜日は金曜日で、

問

乗車が多い順ではあさぎり駅・サンロード免田店・犬童内科・ヘルシーランド。降車はあさぎり駅・犬童内科・サンロード免田店。

問

岡原保健センターで実施しました民生委員児童委員協議会との意見交換会での質問等に対する執行部の考えは。

生活課長

多良木公立病院までいけないかということであるが、地域交通会議の承認・運輸支局等の協議も必要になる。昼休みも運行できないかということであるが、要望も多いということなので、タクシー業者

問

との協議もしているが、地域公共交通会議に諮り、今後の検討ということになる。

問

デマンド交通運行業者のネーミングは。

生活課長

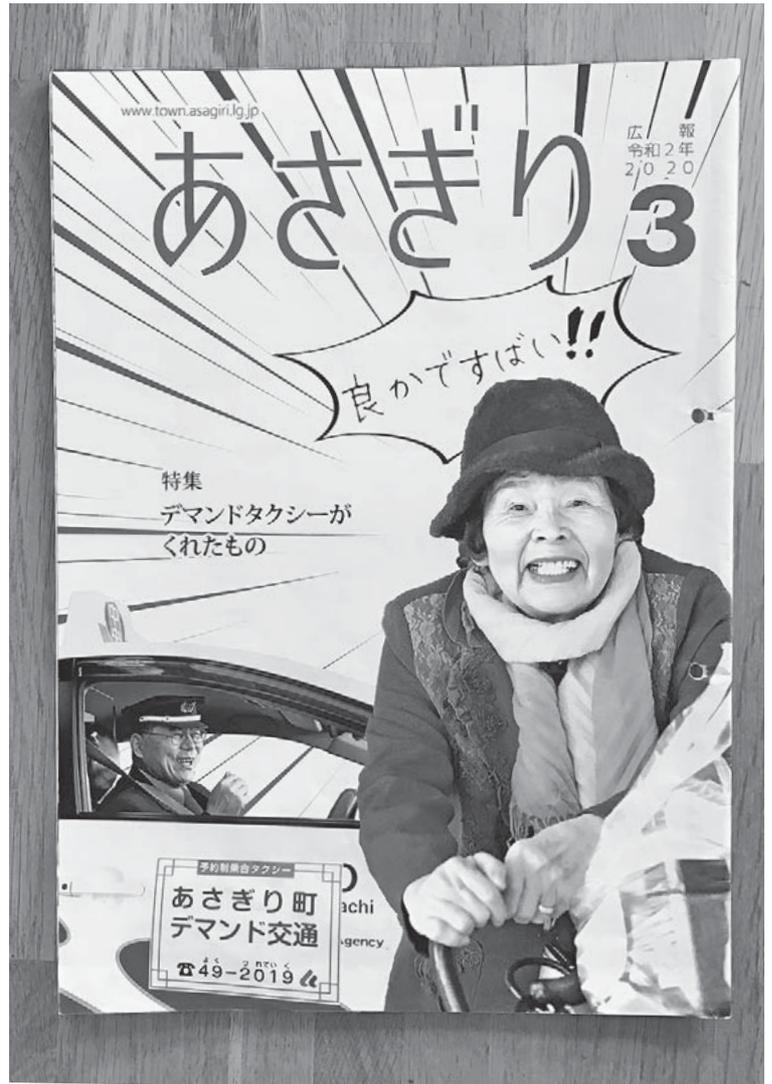
令和2年度予算でのネーミング募集についての予算化もしているので、広報紙等により広く周知を行い募集をしていきたい。

問

3月号の広報紙「よかですばいデマンドタクシーがくれたもの」町民からの意見は。

生活課長

広報特集を組んだことよって、広く町民の方に知っていただけたのではないかと思っています。



6月定例日における一般質問について全員協議会を開催

財政運営に関しての

基本的な考え方は



小谷 節雄 議員
Kotani Setsuo

問 合併特例措置終了後の影響をどのように捉え今後の各種計画を策定されるのか。

町長 合併特例債が使われる間は、起債償還額は増加傾向になり、基金残高も減少していく。普通交付税額は第三次行革プラン策定時よりも好転をしているが、経常収支比率は平成30年度では88・8ポイントと厳しい財政状況。合併特例債償還残高は32億8,000万

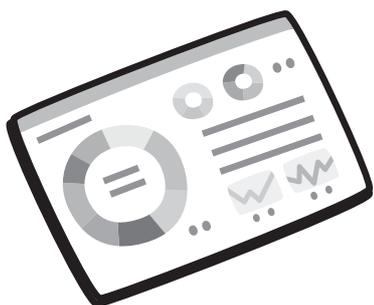
円で、起債全体では104億9,000万程度の地方債残高となっている。

問 合併自治体特有の課題として、遊休施設等の利活用や場合によっては解体、高度成長期に整備が進んだライフラインの更新など、重い財政負担が今後迫ってくる。各種計画の策定や見直しが予定されているが、財調基金の充当を念頭に財政計画をつくるべ

きではない。昨今頻発する自然災害等に対しての財政的な備えも必要で、後年度負担を増やさないよう財政規律を厳守すべきだ。

町長 財調基金は恒常的に使うものではない。財政の不安については常日頃から事あることを想定して取り組んでいる。公共施設等総合管理計画の全体計画では、今後40年間で1,170億円程度の費用がかかり、年間当たり18億円位不足するという計画なので、個別計画にあたっては、将来の人口財政規模に合った公共施設の適正化を行い、維持管理費用や更新費用の削減を図る必要がある。

町長 合併特例債があと4年なので、あれもこれも取りかかっており、今のあさぎり町には必要かと思う。ら「あれかこれか」へ転換し、必要な住民サービス提供が持続可能な財政運営をすべきではないか。



問 今町長は急ぎすぎではないかという見方も一部にはあるが、今後特例措置終了後の財政規模は縮小せざるを得ず、「あれもこれも」か



解体予定の深田保健センター



橋本 誠 議員
Hashimoto Makoto



今後の人口減少の

課題と対策は

問 町の人口の合併から現在までの推移は。

町民課長 合併時の人口1万8,217人、令和2年4月1日1万5,134人と約3,000人が減り、約17%減少。出生数平成15年151人、令和元年90人。

問 人口減少に対応するビジョンを検討しているが、その内容は。

町長 出生率の向上は大事な。転出を抑制し若い人の転入を計る事が必

要。また関係人口を増やす事も重要。

問 実際に各課が取り組む事業は。

商観課長 雇用の場の確保、空き家対策、結婚対策、少子化、雇用対策、定住対策につなぐイベント開催、出会いの場を提

福祉課長 出生祝い金、中学校卒業まで子ども医療費の助成。3、5歳児まで保育料無償。学童クラブの支援。

供。

健康推進課長

教育課長

問

まちひと仕事創生戦略の中で、人口減少を和らげる若者が活躍する具体的な施策と事業。駅前でのコミュニティ活性化、情報発信評価等マッチング機合作りは。

企画課長

SNSを活用した情報発信。ICT環境を整えて対応していきたい。

商観課長

SWCにより歩く町並み、健康づくりを考えた駅前再開発に結びつけたい。

問

地域おこし協力隊の現状と受け入れ体制の検証は。

農林課長

新たな担い手の育成として協力隊を採用し現在研修中である。

商観課長

採用に当たっては具体的なイメージをもたせる必要がある。

町長

反省点を生かしニーズの有る所に募集を行い、3年間の協力隊を終え定住していただく仕組みづくりをしたい。

問

情報基盤の強化が必要になってくるが東京一極集中は正の切り札に地方創生に向けた関係人口は都市部に生活拠点を置いたまま農業や中小企業支援といった兼業、副業、ボランティア活動

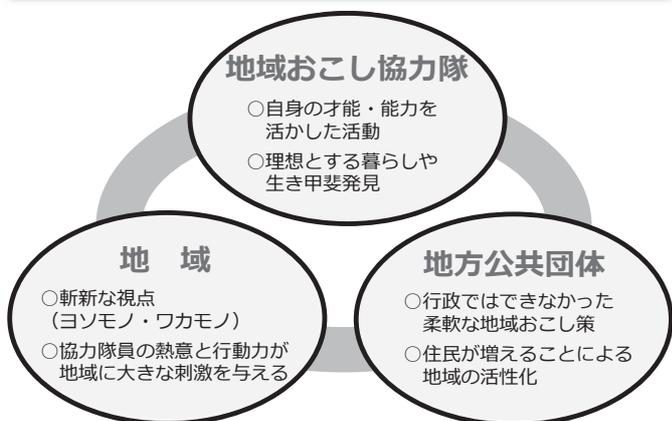
など、地方と提携的に行きたい。京一極集中の是非、人口減少の克服について町長の考えは。

町長

ネット環境は非常に大事。今のままでは力不足と感じている。まだまだ議論が足りない所でIT専門家の力を借りて町のネット環境を整備し関係人口を増やし移住定住の促進に繋げていきたい。

地域おこし協力隊導入の効果

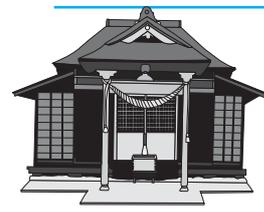
～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～





小見田 和行 議員
Komita Kazuyuki

未指定文化財の保護は



問 約10年前に熊本大学大学院の伊藤龍一教授により、人吉球磨の古社寺調査が行われ、あさぎり町でも10件ほどの未指定古社寺建築物の学術

調査がされている。その調査結果と、歴史的、文化的価値感等を管理されている住民の方々には周知はされたのか。

教育課長 21件の古社寺について調査されている。

その中で毀損が激しく早急な修理が必要と判断された4件については、所有者管理者にその内容を伝えている。その結果として町指定の文化財2件については町等の文化財保存事業補助金を活用され修理されている。また、未指定文化財2件については、価値ある文化財ということで文化財保護審議会に諮り、町指定文化財として登録した上で町の文化財保存事業補助金を活用され1件が修理をされている。残り1件は、当時のままの状況である。残りの分については早急な修繕が必要ないということで所有者等への報告は現在までしていない。

問 先人から受け継いだ文化財の価値を知り、それを後世に継承するために今後、どの様な方針で臨まれるのか。

教育課長 継承への気運が希薄化している様に感じている。地域に生きた文化財として保存は大切な

事と考えているので、まずは専門家の意見等をまとめて、住民の方々からそれを発信する事から始めたらと考えている。

問 未指定文化財の管理をされている方々の高齢化で継承も危ぶま

ている。貴重な文化財が滅失しない様な取り組みは考えているか。

教育課長 未指定文化財でも指定文化財の基準を満たすものについては、調査後町の文化財に登録、補助していきたい。

高齢者の健康増進に向けた遊休町有地の開放、活用策は

問 グランドゴルフ場の不足感もある。遊休町有地を活用してグランドゴルフのみでなく、高齢者の健康に寄与できるスポーツの普及に努めるべきと考えるが。

町長 SWC構想のもと、スポーツ庁の事業の中で検討していきたい。今まさに総合戦略室を中心にメニュー作りをしているところである。



未指定文化財の一つ皇大神宮（竹野地区）



加賀山 瑞津子 議員
Kagayama Mitsuko

町民が共有できる 情報発信の工夫は

問 目まぐるしく移り変わる情勢下、多種多様な情報の中で正しい情報がしっかりと町民に伝わる事が重要では。

町長 今、情報伝達方法の過渡期。どれだけ町民の方に周知していただけるか大きな課題だ。知人、友人等の小規模ネットワークの必要性を感じ取り組みを始めたところ。

問 防災ラジオの音声にも聴きやすい工夫、配慮が



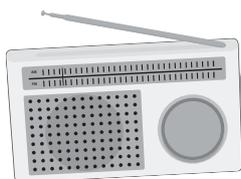
町の安心・安全の情報をしっかり配信

必要。あと地区内限定放送の活用の進捗状況は。

総務課長 行政区単位で情報を発信することは可能。今までも数件の利用があった。

問 防災のためのラジオであるが、配布後の活用の把握は。

総務課長 問い合わせ等については対応しているが、把握は現在行っていない。



問 より身近な放送内容として以前町では朝夕音楽が流れていたが防災ラジオで流すことは出来ないか。町には素晴らしい町歌があるが活用してみている。

副町長 区長さん等からの色々な状況を把握して暖かみのある、町に関心をもってもらうような内容の放送を工夫してみたい。



広報紙でも紹介 使って便利 スマホあさぎりナビ

問 スマホアプリ「あさぎりナビ」の普及、活用の周知方法は。

総務課長 本年5月から開始。広報紙、H・Pでお知らせしている。

問 「あさぎりナビ」は携帯電話から町のH・P・議会中継も見ることが出来る。町や議会に関心を持ってもらうた

町長 普段使っていない方も容易に見たい目的のページに入れる事が重要な課題のひとつ。今後ソフトの開発にも力を入れたい。

問 「あさぎりナビ」は防災を担う消防団の皆さんや社協・区長・婦人会・商工会・PTA・老人会等でも紹介して皆さんに広げていただいては。

総務課長 組織での普及啓発は大変重要。特にこれから雨期、台風シーズンを控えており災害の情報発信の大きな効果がある。

町長 情報を共有することが物事を判断し進めていく上で一番大事な事。困難な時ほど、みんなが支え合う心が大切。情報の伝達方法には更に勉強して進めていきたい。

農耕者資格取得及び対策等は

公道でトラクターや農機具を運転している方へ

その免許で大丈夫!?

今一度ご確認ください!



農家の皆さん!!

自動車の普通免許でトラクターの運転や農機具をけん引していませんか?

それは**無免許運転**になる可能性があります!

農耕用車両(トラクター等)を運転するには大型特殊免許が必要な種類が多いんです。ハイスピード車(時速15km以上でるもの)又は高さ2.0以上・幅1.7以上・長さ4.7以上は大型特殊車輛になります。



※高さについてはヘッドガードにより2m以上2.8m未満のものを含みます。
●フォークリフトを運転される方はマストの高さにもご注意ください。ハイスピード車だけでなく高さ2m以上のものは大型特殊車輛になります。(尚、フォークリフトは農耕車輛でない為、「大特車は農耕車に限る」免許では運転できません)



けん引免許が必要な場合

車の総重量が750kgを超えるものをけん引する場合

※肥料散布機や「コバ」等を台車で運ぶ場合など

※ **無免許運転をした場合** ※
自動車運転免許の取消し(交通違反点数25点)
欠格期間は2年(運転免許の再取得ができない期間)
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

※詳しくはお近くのJAKま農機センターへ

第一農機センター TEL 45-2763

第一農機サブセンター TEL 42-3671

第二農機センター TEL 38-2124

第二農機サブセンター TEL 23-3374



豊永 喜一 議員
Toyonaga Kiichi

問

あさぎり町の基幹産業である農業分野

においては、高齢化、後継者問題等の課題も多く見受けられるが、将来スマート農業へと転換されていくと思われる中で、国は、農作業の効率化に向けた政府の規制改革推進会議の提言を受け、2019年4月に道路運送車両法の法案基準が緩

和された。

方向指示器を見えやすい位置に付けるなどの条件付きで作業機付きトラクター走行が認められた。ただ、各種の作業機を含めて、車幅が1.7メートルを超す場合は、

道路交通法の大型特殊車両に分類され、大型特殊免許がないと無免許運転になる。農機の大型化で

基準を越えるサイズの作業機も多く、農家は新たな課題に対応せざるを得なくなっている。今後の農業振興を図るためにも資格取得への補助や対策を問う。まずは現状と課題は。

農林課長

道路運送車両法によると、従来からトラクターのみの公道走行はできていたが、後部に作業機などを付けた状態では方向指示器等が見えないことから、走行は認められていなかった。今回の規制緩和は、農家にとっては逆に締めつけが強まったとの認識が強い。現在の免許取得における自動車学校等の状況は、多良木が7月まで30人程度待ちの状態、中球磨が10月中旬頃まで30人程度の待ちの状態、また県内でけん引免許を取得可能な八代市内の2ヶ所の自動車学校において、今年の3月頃から受講の申込みも急増してお

問

今後の対策として、どういうことを考えているか。

農林課長

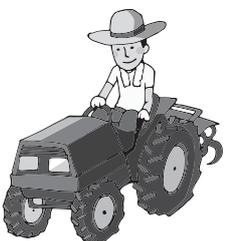
令和元年度から、農業支援センターにおいて、農業経営のための免許資格等取得支援事業を実施している。取得時の必要経費の1/2以内、上限の3万円を支援するもの。本年度は20名を見込んでおり、予算額として60万円を計上している。

問

支援事業の申請が増えた場合、追加補正の意思は。

町長

必要に応じて補正をお願いする。





溝口 峰男 議員
Mizoguchi Mineo



町営住宅「下道団地」の

建替えの時期は



建て替え計画が改修へ変更か？（最古の下道団地）

問 町営住宅の居住環境の整備は、入居者にとって便利で住みやすい快適なものとなるようにしなければならぬ。町営住宅は208棟403戸ある。今年、町営住宅長寿命化計画を見直す時期だが現在、建替え団地が4団地計画されている。免田の下道団地は築47年16棟72戸と最も大きい団地で、建替えを令和5年迄に実施することになっているが計画通りできるのか。

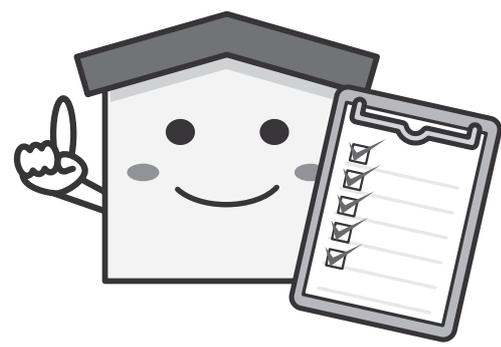
問 団地の空き家に伴う管理が行き届いていないところがある。

課長 空き家も現在13戸ある。若干管理の面で行き届いていない部分もあってるので、徹底して管理をしていく。

問 空き家に入居する人が、浴室やトイレ、シャワー等を整備、修繕しなければならぬような団地がある。主要部位の修繕周期も条例で定められているが、最小限の整備は町がするべきではないか。

町長 今年、町営住宅長寿命化計画を見直し、引き続き住環境の整備を計画的に進めていく。

課長 下道団地を建替えるとなると入居者に一時転居をお願いしなければならず現段階での建替えは難しい部分があるので、改修の方に方向転換する方が大きい。



課長 建築年数が古いところは整備がされていないので、改修計画の中でしっかり整備していく。

問 町民の生命財産を保護するとともに地域の防災の機能を高めるために全住宅の耐震化を令和7年度迄に実施することになっているが達成できるのか。

町長 今年、一般住宅の耐震化率の集計が出ている。目標年度までに達成できるように進めていきたい。



南稜高校のトラクター練習場

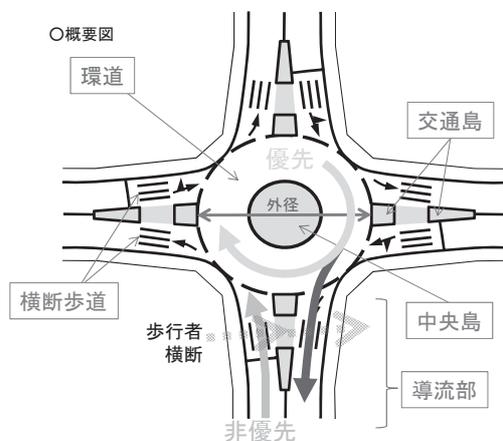
課長 農業機械の大型によって公道を走るときには大型特殊免許が必要となった。南稜高校で講習を実施するには課題が多いが需要が高いことでもあるので何とか工夫してもらえないか要望していく。

問 県立南稜高校の農耕用練習場を拡充して、大型特殊免許の農業安全講習講座を開設し運転技能試験が受けられるように熊本県・公安委員会に要望できないか。

課長 農業機械の大型によって公道を走るときには大型特殊免許が必要となった。南稜高校で講習を実施するには課題が多いが需要が高いことでもあるので何とか工夫してもらえないか要望していく。

大型特殊免許の農作業安全講習講座の開設は

ラウンドアバウト交差点で 安心安全のまちづくりは



環道交通は時計回りの一方通行、信号や一時停止の規制を受けない

は多く発生している。町内の信号機設置要望箇所数は6件であるが、設置困難の条件と具体的な交通事故対策は。

総務課長 該当理由の必須条件は1日1時間の交通量が300台である。町対策として各行政区に交通指導員一名を配置し警察署による一時停止の取締を重点的に行なっている。

。岡原地区の調査ではワイファイ環境のある家庭は80%だが、町内のネット環境は十分とは言えない。各家庭の通信環境次第ではオンライン学習による格差が生じるのでは。

教育課長 今回導入する端末機器は常時家庭に持ち帰るのではなく全学年に対応できるソフトを導入して主に学校で使用したい。

を作り出すチャンスと捉えて公共施設管理、命を守る農業や産業力を築くために前進するべきでは。

町長 これからの時代を迎えるために改革の志を持って取り組んでいく。

問 新型コロナウイルス対策のため全国的な移動制限があり交通事故全体の件数は減少したが、死亡事故に占める高齢者の割合は55.4%。町内の交通事故件数と対策は。

総務課長 令和元年度の人身事故は8件、物損事故は166件発生している。

問 臨時休校後の児童生徒は分散登校したが、見守り活動の交通ボランティアには周知されていたのか。

教育課長 各小中学校の安心安全メールを活用して通知したが、未登録者には行き渡らなかつたかもしれない。

問 周知については、防災ラジオの活用も考えるべき。交差点での事故

問 平成25年から信号機のない少ない予算で整備できる『ラウンドアバウト交差点』が全国の市町村で広がっており重大事故が減少しているが導入については。

町長 どこかの交差点で使える場所があれば検討する。

GIGAスクール構想実現に向けた教育行政は

問 国は約6兆円の予算で全ての児童生徒に通信端末を配布し個別最適化された教育を目指してい

問 ICTの活用は特に低学年児童に配慮が必要。導入後の維持費や更新料、活用計画とフォローアップも重要課題である。インターネットで匿名を利用し他人を誹謗中傷し命を奪う犯罪も多く発生しているが。

教育課長 道徳教育や警察、教育センターの人材を活用して情報モラル教育の向上を図る。

問 『コロナショック』で今後の社会システムが変わる。今こそデジタル化や新しい地域のあり方

GIGAスクール構想とは

児童生徒1人に1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備して、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子ども達に個別最適化された教育ICT環境。

『1人1台端末』の活用で充実する主な学習例

- 大学、海外、専門家との連携、過疎地や離島の子ども達が多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ遠隔教育。
- 真実様々な情報を活用する各場面(収集・発言)における情報モラル教育。
- 調べ学習や表現・制作学習



難波 文美 議員
Nanba Ayumi

常任委員会報告

総務建設経済常任委員会

○5月18日(月)

今井地区集落道拡幅事業(道路及び排水路改良補償費)

委員会意見 歩行者等の安全確保の為、早期の完成を。

○5月28日(木)

中心市街地活性化推進委員会 条例の一部改正及びおかどめ

幸福駅周辺整備基本計画策定 会議の設置

○6月25日(木)

平山(須恵)3号線法面崩壊 災害 土地改良設計

委員会意見 早期着工を。

○5月21日(木)

あさぎり駅前東側駐車場用地購入

委員会意見 あさぎり駅及びおかどめ幸福駅周辺の活性化に向けて積極的な議論に期待

免田東1437-1他3筆 2,608.77㎡

幸野溝・中球磨・百太郎溝土地改良維持管理 費用負担金

鑑定評価額 24,000千円

委員会意見 大雨時の地域排水を各河川へ

委員会意見 「町づくり」に欠かせない土地であり、早急に購入すべき」と「新型コロナウイルス感染症を見守ってからの」との意見あり。

放流・防火用水等大きく地域に貢献していること承知済みであり支援すべき。



須恵平山3号線法面崩壊現場

厚生文教常任委員会

○5月25日(月)

新型コロナウイルス感染症対策関連を含め13事項について所管事務を調査した。条例改正については上位法改正に伴うものが主なので、省かせてもらうこととして、身近な事項のみの抜粋の報告とする。

GIGAスクール構想に伴う児童生徒1人1台のパソコン端末整備について

GIGAスクール構想とは、文部科学省が義務教育を受ける児童・生徒1人1台のパソコンを整備し「子ども1人1人に合わせた教育の充実を計る構想」であり、あさぎり町においても1,419台導入予定である。将来は、学校での指

導の下で、各家庭へ持ち帰らせての学習にも活用することとするが、第一段階の整備として学習ソフトを利用して学校内での活用である。価格、セキュリティについての質疑が多く出された。

夏季振替授業期間の低学年対象の下校時スクールバスの運用について

7月21日～8月31日の期間、1～2年生、時間帯によっては3年生を含み、概ね2km以上の児童を対象とする。運用時を想定した具体的要点についての質疑があった。



一部事務組合報告

上球磨消防組合議会



議案1件を全会一致で原案可決した。

議案第3号物品売買契約の締結について
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車更新
事業

契約金額

55,330,000円

契約の相手方

熊本市東区健軍1丁目31番7号

株式会社田原商会

代表取締役 成良仁志

○5月19日(火)

令和2年第1回臨時議会が1日限りで開催されたあさぎり町議会議員改選に伴い、空席になった議長に、指名推薦により、全会一致で永井英治議員が選任され、又、消防庁舎建設調査特別委員会委員長に橋本誠議員が選任された。

公立多良木病院企業団議会



○5月26日(火)

令和2年第2回臨時議会が開催され、あさぎり町議会の改選に伴い「議席の決定」「副議長の選挙」および「議会運営委員の選任」並びに4件の専決処分承認について慎重審議を行った。指名推薦により、副議長にあさぎり町選出の難波文美議員、議会運営委員に豊永喜一議員、溝口峰男議員が選任された。

会計年度任用職員制度にかかる法改正施行に伴う条例改正3件と新型ウイルス感染症に係る機械備品購入費の補正予算を承認した。

大島企業長より、医療用ガウン、サージカルマスク、エタノール消毒液の納品が増加し職員へのスムーズな配布が可能になった旨、報告があった。



人吉球磨広域行政組合議会



○5月29日(金)

令和2年第2回臨時議会が開催された。4月のあさぎり町議会議員の改選に伴い、空席となっていた議長については議長選挙により多良木町選出の村山昇議員を選任、議会運営委員に、上球磨地区からあさぎり町選出の皆越てる子議員が指名された。

陳情第1号

令和元年7月12日に4つの農業団体より連名で陳情書が提出されたが、「農業用廃プラスチック類の当施設での焼却処理について困難であることが判明し、処理について県内の産業廃棄物の処理業者に処理委託できる見通し」となり、令和2年4月17日付けで取り下げ願出書が提出され、議会において了承し撤回された。



\\ 聞かせて //

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

ヒデキ！感激！！コウジ！還暦！！

終りが見えぬ「新型コロナウイルス」によりすべての業界に多大なる影響が発生しており、一日でも早く終息することを願っております。私が携わっている旅行・観光業界でも大変な打撃を受けております。そのなかで、政府（観光庁）の「GoToトラベルキャンペーン」が、8月上旬より始まる予定で多大なる期待をしたいと思います。

普段は、人吉球磨地域より日本国内外にお客様をご旅行に案内しています。あさぎり町をはじめ、球磨人吉地域には優れた観光スポットがありますが、残念ながら有機的に結びつけていないと感じます。

私は、8月にとうとう60歳の誕生日を迎えます。目に入れても痛くない(?)孫は現在4人いますが、12月に5人目が生まれます。可愛い孫の成長を感じつつ、毎日の晩酌を楽しみながら穏やかな日々を過ごしたいと思います。

最後に、行政、議会、町民とがっちりスクラムを組み、孫たちに誇れる「あさぎり町」になればと願います。



岡原(岡麓)地区

溝辺 浩治さん



須恵(屯所)地区

田上 亜理沙さん

私たちがあさぎり町須恵に住んで5年が経ちました。須恵は人口が少ないですが、自然豊かで子供が喜ぶ駄菓子のお店や小さな公園もあります。これまで夕方や休日には、子どもたちの元気な声が響いていましたが、今年はコロナにより学校等は長期休みや自粛をしなければならなくなりました。その間子どもたちは、友達とも会えずどこにも行けなくてストレスが溜まっていました。家庭では、食費や感染対策用の物品購入費用等が増え、金銭面での負担が多くなりました。自粛解除後は、子どもたちの元気な声が響いて嬉しかったですが、第2波の恐れもあるので、手洗い・うがい・消毒を続けて注意していきます。皆の元気な笑顔がずっと続くような町であるように期待しています。



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

タイガーダムとは、土のうや砂袋に替わる水のう型浸水防止システムです。

編集後記

今回の豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。
近年の災害は、私たちが想定する以上に大規模化・頻発化しています。私たちはこれまでの常識を捨て、新たな考えで災害に対処していかなければなりません。
【自分の命は自分自身を守る】という強い意識がより必要になってきているようです。しかし、これには限界があり、国・地方自治体の更なる防災・減災の対策が必要となってきます。
町民の負託を受けた我々議員も、「生命」・「身体」・「財産」を守る観点から、開かれた議会を目指し、努力・邁進して行かなければならないと自覚・再認識するものであります。

※今号の「議会だより」は、豪雨災害の影響で発行が遅れたため、「議員紹介」の内容が災害以前の文面になっておりますのでご了承ください。
(岩本 恭典)

編集・発行責任者

広報調査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 徳永 正道 |
| 委員長 | 岩本 恭典 |
| 副委員長 | 皆越てる子 |
| 委員 | 永井 英治 |
| | 豊永 喜一 |
| | 橋本 誠 |
| | 小谷 節雄 |

